

授業科目名	人間教育学ゼミナール（基礎）(2100309)		
時間割名	人間教育学ゼミナール（基礎）(25104)		
時間割担当	阿尾あすか		
実施期	通年	単位数	4 必修 選択
曜日・時限	火・5		

授業の目標・概要

自分が追究したいと思う専門領域を決定し、これまでに身につけてきたアカデミックスキルを用いて専門分野の文献や論文を読むなどして見識を深めることを目的とする。必要に応じて、学外での実習や討議も行いながら、専門知識を身に付ける。

本ゼミナールでは、児童生徒の情操と精神の安定に資する文学教育についての研究を行う。具体的には文学教材の検討や、自分の感情や思考を自由に表現できるようになるための文章教育についての研究などを行う。

学習の到達目標

- 1) 文章で自分の感情や思考を自由に表現できるようになる。
- 2) 文学作品や文献資料を正確に読み取り、適切な情報処理ができる。
- 3) これまでの自分の学んだ内容を統合して思考し、自分なりの見解を持って文章にまとめることができる。

授業方法・形式

輪読・演習形式で行う。サブカルチャーなども含めた文学作品を鑑賞し、その作品のテーマや描かれた心情について読み取った上で、集団で討議する。また、それに関するレポートを作成する。文章技術を磨くため、レポート発表をして討議することもある。

授業計画

第1回 オリエンテーション(人間教育学ゼミナールの目的・内容・文献検索等について)

第2～11回 文学作品の鑑賞と討議、レポート作成、ゼミ生による発表

第12～14回 研究指導

第15回 テーマ設定(卒業論文作成に向けたテーマを設定する)

第16回～第25回 ゼミ生発表(1)～(10)(テーマに基づく学生の発表と討論)

第26回～第28回 研究指導(各学生の問題意識の交流と指導助言)

第29回～第30回 研究発表と総括(各学生の研究発表と討論)

成績評価の基準

ゼミでの取り組み、レポート、小論文、発表内容等から総合的に評価する。

準備学習・復習及び授

- 1) 自分が書きたいテーマに関わる文献はインターネットなどで検索し、特に関係がありそうな文献には必ず目を通すこと。
- 2) 大学の図書館では他大学にある文献も取り寄せることができる、積極的に利用すること。
- 3) 文章を書くこと、論理的な文章を読むことを日常から心がけて慣れること。

履修上のアドバイス

「読むこと」「書くこと」の多いゼミナールです。情報は様々なところに隠れています。対象を注意深く観察し、情報を探し出せるようになることが文学研究で得られる力です。このゼミナールでは、「文学」を幅広くとらえ、映像作品、音楽やファッションなどの芸術も対象にして、想像力・観察力を鍛えてことばで表現できるようになることを目標としています。

教材・教科書

講義中に指示する。

参考書

大学および公共図書館のインターネット検索サイト、これ以外については講義中に指示する。